

<研究主題> 一人一人が学んだことを実感し、自分から行動する姿を目指して
～各教科等の指導を支える自立活動の視点から～

第3号は、高等部授業研究会で話題になったことを紹介します。

協議テーマ

- ・ 目指す姿が授業の中でどのように表れていたか
【一人一人（特に抽出生徒）が、学んだことを実感し、自分で考え、判断して行動する姿】
- ・ そのための手立て（学習活動、教材・教具、場の設定、教師の働き掛け）は適切か

★単元名★

高等部3年 生活単元学習 「クッションプロジェクトⅠ～追分駅リニューアル編～」

★授業説明★

- ・ 毎年高等部3年生が追分駅へクッションを贈呈する学習を行っている。
- ・ 抽出生徒は、追分駅に掲示する新聞を作成する掲示物グループのリーダーをしている。
- ・ 本時は、ミシングループに取材し、撮影した写真の中から新聞に使う写真を話し合いで選んだ。

★協議から★ 良かった点（青い付箋）

- ・ 抽出生徒が安心して発言できるグループ編成
→自分が出した意見に賛同してもらえることが自信になっていた。
- ・ 賛成、反対、保留の札◎
→意思表示の難しい生徒も意見を出せた。
- ・ 振り返りの仕方が点数化され、分かりやすかった。



★協議から★ 改善点（赤い付箋）

- ・ 写真選択の目的や基準を明確にすると、より意見を出しやすい。
- ・ 生徒が見える位置に、目的や基準となる資料を掲示すると生徒が判断しやすい。
- ・ 話し合いの中で、生徒の発言や気づきを活かす。学習の中で、それらを取り上げられるように、教師の言葉掛け等のタイミングを考える。
- ・ 生徒同士のやり取りを増やせると良い。

<指導助言> 秋田県総合教育センター 指導主事 北島 英樹 氏

- ・ 生徒が自分の役割について理解し、学習に向かっている。安心できるグループ編成や生徒の長所を活かした役割分担がされていた。
- ・ 生徒が、気持ちや要求を伝える必然性を感じる学習場面を設定することができれば良い。
- ・ 相談して良かった、相談して解決できたという経験を積むことが必要ではないか。
- ・ 写真選択の基準、条件が生徒に伝わっていなかった。基準を決め、提示する。
- ・ 単元の主なねらいと学習内容を、学習指導要領を基に整理し、育みたい資質・能力を明確にする。

今後、改善したい点

- ・ 話し合い活動を通してどのような力を育てるか、何をねらうかを明確にする。
- ・ 全員が納得する写真を選べるように、基準を明確にし、生徒が確認できるように手元に置く等の手立てを講じる。